神奈川県博物館協会

神奈川県内で活動する博物館が、相互の連絡をはかり、博物館活動の振興に努め、また学術文化の進展に寄与することを目的として設立しました。現在は歴史館、美術館、科学館、水族館、動物園、植物園など96館園の加盟で活動しています。

活動の主な内容

1. 博物館相互の連絡と連携、情報交換
2. 博物館事業に関する調査研究
3. 研究会、研修会、映画会等の開催
4. 機関誌の発行
5. 共同事業の企画、促進

2021 発行の「ぐるりかながわミュージアムマップ」では川崎・三浦・県央地域の特集記事を掲載しております。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開館時間の短縮や臨時閉館等、掲載情報とは異なる場合がございます。お出かけ前には各園館へご確認をお願い致します。

重要文化財となった鎌倉文華館 鶴岡ミュージアムの夜景（旧神奈川県立近代美術館）

表紙の写真は
上：三笠公園内に建つ東郷平八郎の銅像と三笠（記念艦三笠）
中：時代を彩った車両が並ぶロマンスカーギャラリー（ロマンスカーミュージアム）
下：プラネタリウム投影機 MEGASTAR-Ⅲ FUSION
（かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館））

発行：神奈川県博物館協会
〒231-0006
横浜市中区南仲通 5-60　神奈川県立歴史博物館内
TEL:045-201-0926　FAX:045-201-7364
E-mail : kanagawa-kenpakukyo@dolphin.ocn.ne.jp
twitter.com/kngw_kenpakukyo
2021 年 11 月 20 日発行
印刷：（株）TAKT-JAPAN

川崎・三浦・県央 特集記事

川崎

35　川崎市立日本民家園
民家の歴史を体感できる野外博物館

江戸時代の民家、水車小屋、歌舞伎舞台など25 件の文化財建造物を移築した野外博物館です。民家の基礎知識が学べる常設展示のほか、テーマを設けた企画展示を年 2 回開催。四季折々の年中行事展示や、暮らしや建築の観点から解説を行う「古民家めぐり」、生活で使われていた民具を作る「民具製作体験講座」などの催しも行っています。展示や体験などを通じて、民家や昔の暮らしに触れることができるほか、園内施設でできる藍染め体験も人気です。

36　若宮八幡宮郷土資料室
かつて大師でも海苔がとれていた

川崎大師駅南口より徒歩 3 分という交通の便の良い所に当資料館はあります。
かつてこの大師地区では海苔漁が盛んに行われていました。その歴史を知ることのできる写真や道具、また当時の暮らしぶりを伺える生活用品などが展示されています。もう一つの特徴は、金山神社に関する鉄・石仏についての書物や、様々な時代・地域の民芸品などの資料が多数収集され、展示されています。

37　明治大学平和教育登戸研究所資料館
“秘密戦”を学べる唯一の資料館

当館は、明治大学生田キャンパス内にある、戦時中に登戸研究所が行ったことがらを展示する資料館です。登戸研究所とは、戦前に旧日本陸軍がこの地に設置した広大な研究所で、風船爆弾・偽札・毒物などの“秘密戦兵器”を研究開発していました。登戸研究所が実際に使用していた研究棟を保存・活用しているため、資料館の建物そのものが当時の面影を伝えます。また、キャンパス内では、研究所時代から残る倉庫跡や動物慰霊碑、陸軍の消火栓などの戦争遺跡も見学できます。

38　川崎市市民ミュージアム
国内初、漫画を収集した複合文化施設

川崎の成り立ちと歩みを考古、歴史、民俗などの豊富な資料で紹介する博物館と、都市に集まる人々の刺激から生み出されたポスター、写真、漫画、映画、映像など、近現代の表現を中心に紹介する美術館との、2 つの側面から収集された多彩なコレクションと、独自性のある企画が館の特色です。
令和元年東日本台風の被害により、施設は休館していますが、アウトリーチによる展示や教育普及、オンラインによるミュージアムショップなどの事業を継続しながら、被災収蔵品のレスキュー活動を行っています。

39　電車とバスの博物館
みんなが楽しめる、体感型ミュージアム

東急線の旧型車両やバスの展示、HO ゲージの模型が走る「パノラマシアター」、お子さまでも運転ができる「東横線 CG シミュレーター」、プロ仕様の「8090 系シミュレーター」、N ゲージの模型レンタルもある「N ゲージパーク」、昭和 40 年代に活躍したバスの運転シミュレーターもあり、映像を見ながら運転体験もできます。

40　かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館）
毎月変わる生解説のプラネタリウム投影

緑豊かな生田緑地内にある自然科学系博物館です。展示室は、川崎の大地、丘陵の自然、生田緑地ギャラリー、街の自然、多摩川の自然と 5 つのコーナーで展開するほか、天文展示、科学工作展示があり、自然観察会、天体観測会、科学実験教室などの体験学習イベントも楽しめます。一番のおすすめは、世界で当館に 1 台しかないプラネタリウム機「MEGASTAR-ⅢFUSION」を駆使した世界最高水準の星空投影です。毎月変わるオリジナル番組の生解説による投影をお楽しみください。

41　川崎市岡本太郎美術館
五感で楽しむ「体験型美術館」

川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎の芸術を堪能できる岡本太郎美術館では、年間を通じ様々な展覧会を開催しています。常設展示では、岡本太郎作品をはじめその両親である一平・かの子の芸術を多様な視点で紹介する展覧会を、企画展示では「岡本太郎とその周辺作家や時代との関係性」をテーマにした展示や次世代を担う作家の発掘を目的とした「岡本太郎現代芸術賞」入選作家による展示を開催しています。また、展覧会や季節に絡めた様々イベントも開催しています。

42　川崎市平和館
平和への理解を深める資料館

平和であるというのは、どういうことでしょうか？平和館では戦争だけでなく、貧困や差別など、平和な生活を脅かす多様な要素を展示し、来館者の皆様に色々な意味での平和について考えていただけるようにしています。
1階の屋内広場では、川崎大空襲記録展（3～5 月）、原爆展・特別展（8 月）、企画展・ミニ企画展（6、11、1 月）を開催しています。2 階の常設展示では、様々な平和問題をより深く理解していただけるように、音声ガイドや子どもたち向けのオリエンテーリングシートも用意しています。

43　（公社）川崎・砂子の里資料館
川崎浮世絵ギャラリーで展示

建物の改築に伴い、借しまれながら閉館いたしましたが、現在は川崎市が作られ、川崎市文化財団が運営する、京浜間唯一の浮世絵展示場の「川崎浮世絵ギャラリー」に毎月無償で貸出しております。
肉筆画から近代版画まで 5000 余点のコレクションから、弊館が毎月企画立案した展覧会を開催し、多くの方々にご来館頂いています。

川崎浮世絵ギャラリー
～斎藤文夫コレクション～
KAWASAKI UKIYO-E GALLERY SAITO FUMIO COLLECTION

三浦

44　鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム

2019 年「神奈川県立近代美術館 鎌倉館」の建物を引き継いだ鶴岡八幡宮により、耐震工事を経て「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」として開館しました。建物は坂倉準三氏による貴重な建造物として 2020 年国の重要文化財の指定を受けました。当館は鶴岡八幡宮の境内という立地を生かし、八幡宮をはじめとする鎌倉の魅力を発信していきます。ミュージアムショップは入館料なしで利用可能です。敷地内には 2010 年に倒伏した大銀杏の一部が身近に御覧いただける「ミュージアムカフェ&ショップ」も併設されております。

45　観音ミュージアム
体感・発見！観音さまのひみつ

長谷観音の名で親しまれる鎌倉長谷寺。本尊の十一面観音像は国内屈指の巨像であるとともに、造顕から 1300 年を経た霊像として知られます。同寺に伝世する数々の寺宝を公開するため 1980 年に開設された長谷寺宝物館は、2015 年に観音ミュージアムとして新生しました。当館では重要文化財 2 件を含む指定文化財の常設展示とともに、観音信仰にまつわる様々な企画を通じ、観音菩薩の歴史や美術に親しんでいただけます。

46　記念艦三笠
歴史を語り継ぐ船の上のミュージアム

「三笠」は、東郷平八郎司令長官率いる連合艦隊の旗艦として、1905 年 5 月、対馬沖にロシアのバルチック艦隊を迎え撃ち、世界海戦史上稀な大勝利を収めました。東郷司令長官が戦闘の指揮をとった最上艦橋に登れば、バルチック艦隊を迎撃したときの情景がありありと浮かんできます。艦内は歴史博物館として貴重な歴史資料を展示している他、VR やシミュレーターなどの最新技術で、歴史を見て・触れて・体感することができます。

47-1　横須賀市自然・人文博物館
三浦半島の自然と歴史を学べる博物館

自然館入口ではナウマン象の全身骨格模型がみなさまをお迎えし、三浦半島でみられる動植物や昆虫、魚類などの標本や生態写真、地形などを展示しています。珍しい標本コーナーや森林のジオラマもあります。人文館では、「三浦半島にヒトが住みついたころ」から近現代までの幅広い歴史を、土器や埴輪、漁撈用具、近代の幕開けでもあるペリー来航の史料や横須賀製鉄所の模型などで展示しています。その他にも、年 3 回の特別展・企画展、博物館教室や野外行事も開催しております。

47-2　馬堀自然教育園
残したい三浦半島の丘陵と水辺の自然

馬堀自然教育園は三浦半島の水辺や山林の動植物を保全しています。園内にはため池や水路のほか旧陸軍時代の建物もあり、一周約 20 分の観察路が整備されています（動植物の持ち帰りはできません）。学習棟ではそれらに関連する展示もしています。初夏には水辺をアサヒナカワトンボが飛び交い、ゲンジボタル・ヘイケボタルの観察会も開催しています。また、秋には林の中に様々なきのこを見つけることができます。県内では三浦半島でしかみられないトウキョウサンショウウオの生息地でもあります。

47-3　天神島臨海自然教育園
残したい三浦半島の海岸の自然

天神島にはスカシユリ、ハマボウなど多くの海岸植物が育ち、海岸や周囲の海には多種多様な海洋動物がみられます（動植物の持ち帰りや海水浴などはできません）。特に、自生するハマオモト（ハマユウ）は自然分布の北限地として 1953 年に神奈川県の天然記念物に指定されています。隣接するビジターセンターではそれらの標本を展示しているほか、自然教育園では自然観察会やガイドツアーなどの行事も開催しております。富士山や伊豆半島の山並みを一望できる景勝地でもあります。

47-4　ヴェルニー記念館
横須賀製鉄所があった場所で体験学習

ヴェルニー記念館は、横須賀製鉄所の首長として日本の近代化の基礎を築きあげたフランソワ・レオンス・ヴェルニーの功績と意義を伝える体験学習施設です。横須賀製鉄所で使われていたスチームハンマー 2 台は、江戸時代末期の 1865 年にオランダでつくられたもので、国の重要文化財に指定されています。その他、子どもから大人まで楽しめる体験学習展示、横須賀の近代歴史遺産やスチームハンマーを紹介する映像番組の上映、横須賀製鉄所の 3D 映像展示などがあります。

48　観音崎自然博物館
自然とふれあう生きた博物館

東京湾集水域の”リアルな自然と生態”をテーマとして、観音崎にある海藻・季節の花々・草本・木本・磯の生物・昆虫・両生類・爬虫類などを展示しています。観覧者は、生物やその行動を見るだけでなく、香りを嗅いだり、触ったりと人間の感覚を全て使って”リアルな自然と生態”を体感できます。特にタッチプールでは海の生き物に触れることができます。さらに、希少な海岸植物や水生生物も見ることができます。ぜひ、”リアルな自然と生態”を体感しに来てください。

49　神奈川県立大船フラワーセンター
リニューアルした大船フラワーセンター

神奈川県内の観賞植物の生産振興と花卉園芸の普及のため、昭和 37 年に神奈川県農業試験場の跡地に開設されました。改修工事のため一時閉園しておりましたが、2018 年 4 月 1 日にリニューアルオープンし、新たな魅力を提供しています。
大正年代から、この地で改良・育成されたシャクヤクやハナショウブをはじめ、体系的に収集された優れた観賞植物を栽培・展示し、ご覧頂いています。こうした植物は現在では 3,000 品種余りとなり、四季折々の彩りを演出しています。

50　葉山しおさい博物館
相模湾の海洋生物を学ぶ博物館

1987 年に昭和発祥の地として歴史に残る葉山御用邸附属邸跡地に開館した葉山しおさい博物館は、相模湾の海洋生物を通じて三浦半島沿岸域の自然について学べる博物館です。昭和天皇がご研究に用いたヒドロ虫類を中心とした 28 点の昭和天皇御下賜標本をはじめ、1960-70 年代に採集された藻類標本などから、相模湾の多様な生物相の変遷を学ぶこともできます。また、四季折々の花と日本庭園が楽しめる葉山しおさい公園を併設しています。

51　山口蓬春記念館
趣きのある美術館と日本庭園

日本画家・山口蓬春の作品をはじめ、研鑽の偲ばれる素描、模写などのほか、蓬春が長年にわたり収集した古美術品の数々を、年間 5 回の展示替えを通じてご覧いただけます。また、蓬春が数々の名作を生みだした画室等は、数寄屋造りの名匠・吉田五十八が設計、当時のままの状態で保存し、四季折々の草木が彩る庭園とともにお楽しみいただけます。
来館された方々には、蓬春の生前の創作活動に思いを馳せながら、風光明媚な葉山の豊かな自然を満喫していただけます。

52　逗子市池子遺跡群資料館
池子の森自然公園内にある資料館

池子遺跡群資料館では池子遺跡群で出土した旧石器時代から近代にわたる資料を展示しています。なかでも県重要文化財に指定されている弥生時代の河道跡から発見された農具などの木製品は必見です。他にも約 440 万年前のシロウリガイ類化石や神奈川県最大級の前方後円墳、長柄桜山古墳群から出土した埴輪も展示しています。

53　鎌倉宮宝物殿
明治天皇行在所を改築した宝物殿

鎌倉宮宝物殿は、明治 6 年（1873）の明治天皇御親拝の際に行在所とされた建物を利用しています。ご祭神・護良親王の生涯を描いた絵画「護良親王一代記」をはじめ、親王所用とされる直垂や、「護良親王馬上像」など御祭神ゆかりの品、また横須賀鎮守府より奉納された海軍軍人の書などを展示しています。
拝観路の奥は高い木々に包まれた神苑となっており、さらに本殿の奥にある護良親王が最期を遂げられたとされる「御土牢」も拝観できます。

54　鎌倉国宝館
鎌倉の至宝を間近に見られる博物館

鎌倉国宝館は、1923 年の関東大震災で地域の文化財が失われた経験のもと、不時の災害から由緒ある文化遺産を保護する使命を担い、鎌倉市域に所在する社寺から多数の宝物の寄託を受け、1928 年に開館しました。設立時からの建物である本館は、国の登録有形文化財になっています。
彫刻、絵画や古文書など、国宝や重要文化財をはじめ約 1,000 件 5,000 点にのぼる作品を保管・展示しています。彫刻展示場では、ガラスケースを用いない露出展示により、仏像の生の迫力を味わうことができます。

55-1　神奈川県立近代美術館 葉山館
日本で最初の公立近代美術館

1951 年に日本初の公立近代美術館として、鎌倉の鶴岡八幡宮境内に鎌倉館は開館しました。2003 年に 3 番目の建物として葉山館が開館し、2016 年に鎌倉館が閉館した後は葉山館と鎌倉別館の二館体制で活動しています。

所蔵作品は日本近代美術の作品を中心に約 15,000 件と公立美術館のなかでも有数の所蔵数を誇ります。
一色海岸と三ヶ岡山に囲まれた環境を活かした施設内では、野外彫刻が設置された散策路や美術図書室、レストランやミュージアムショップを観覧料なしでご利用いただけます。

55-2　神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

撮影：木奥惠三

1984 年に 2 番目の建物として開館した鎌倉別館は、彫刻庭園に面したテラスにカフェスペースなどを増設し、アクセシビリティも向上させました。
カフェ「ピナコテカ」では、旧鎌倉館で親しまれた喫茶メニューもお楽しみいただけます。観覧料なしでご利用いただけるので、鎌倉散策の際にはぜひご利用ください。

県央

86　女子美アートミュージアム
女子美術大学の付属美術館

女子美術大学は 1900 年の創立から 120 数年の歴史を持ち、片岡球子、三岸節子、堀文子をはじめとする多くの著名作家を輩出しています。「女子美アートミュージアム」にはそれらの卒業生や教員の作品、国内外 1 万 2 千点の染織品からなる「女子美染織コレクション」を収蔵し、それらを中心に年 7 回程度の企画展を開催しています。相模原公園の南側に隣接する美術館で芸術に触れ、公園でのんびり過ごしてみてはいかがですか。

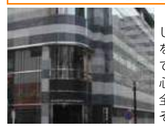
87　ロマンスカーミュージアム
電車だけじゃない、ワクワクを。
時代を彩った車両が並ぶロマンスカーギャラリー

神奈川県を横断する小田急の特急「ロマンスカー」。新宿から小田原・箱根、江ノ島へ走る「ロマンスカー」をテーマにしたミュージアムが、2021 年 4 月に小田急線海老名駅すぐそばにオープンしました。時代を彩った 5 車種のロマンスカーが並ぶロマンスカーギャラリーや、小田急沿線を再現したジオラマパークなど見どころいっぱいです。鉄道ファンはもちろん、子どもも大人も様々な体験を通して、ロマンスカーや小田急電鉄に興味を深め、楽しんでいただけるミュージアムです。

88　大和市つる舞の里歴史資料館

大和市つる舞の里歴史資料館は、旧石器時代研究の画期となった月見野遺跡群の中にあり、地域の歴史資料を収集、保管し、展示活用すると共に、市民の方々の郷土の歴史に対する理解を深めるために建設されました。
建物は地域の特色を生かし、外観は幕末から明治初頭の農家をモチーフとしたもので、内部の意匠は農家の庭、納屋、土蔵というイメージで構成し、農家の生活空間を再現しています。

89　松蔭大学資料館
吉田松陰について学ぼう



本資料館は、1941 年に世田谷に開設されました。吉田松陰の実学精神に基づく「知行合一」を校是とした創設者の建学精神に則り、社会で活躍する「ホスピタリティ（他者を思いやる心）」を基盤とし人間形成を図り、心身共に健全な人材の育成をすることが第一の目的です。その後、森の里キャンパスを経て、2012 年にステーションキャンパスに移転しました。主に校是にある吉田松陰関係資料や文献、本学園史や「日本のあかり」「三学部」展等の貴重な資料を展示しています。

90　愛川町郷土資料館
来て、見て、楽しんで

2009 年に開館した歴史・自然に関する展示施設です。入口では、約 300 万年前の古代象の化石標本が来館者をお迎えします。展示室の中は、渓谷の植物や里山の動物が実際に館内に生息しているような雰囲気です。八菅山（はすげさん）の修験、戦国時代の三増（みます）合戦のコーナーでは、古代から中世に至る町の歴史を垣間見ることができます。町の近代産業であった「半原撚糸（はんばらねんし）」や、陸軍飛行場が現在の工業団地へと変遷する過程を紹介し、変貌する町域の様子を展示しています。

91　海老名市立郷土資料館　海老名市温故館
相模国分寺跡とレトロな建物が見どころ

当館は、大正7年に建てられた旧海老名村役場の建物を利用した郷土資料館で、海老名市内の考古・歴史・民俗資料を展示しています。1階には、市内に 3 つある国指定史跡（相模国分寺跡、相模国分尼寺跡、秋葉山古墳群）から出土した土器や瓦がズラリ。相模国分寺跡の復元模型もあります。
2階の民具はちょっと昔に戻れる不思議な空間。当館の目の前には、相模国分寺跡が広がり、七重塔や金堂跡等の大きな礎石を見ることができます。館内外の楽しい解説も自慢です。

92　あつぎ郷土博物館
丸ごとあつぎ！自然の中にある博物館

平成 31 年1月に開館した、「あつぎ」の歴史や文化、自然をご紹介している施設です。メインとなる基本展示室では、地学、考古学、歴史学、民俗学、自然科学の5つの分野で構成し、太古の昔から現在までの「あつぎ」を丸ごと理解できるような展示をしています。また、企画展示室では、テーマを定めて多様な展示を定期的に実施しています。自然豊かな公園も隣接しており、ご家族連れで楽しむことができます。

93　相模川ふれあい科学館　アクアリウムさがみはら
いろいろ体験水族館

相模川に生息する生き物を中心に展示している淡水魚水族館。上流から河口まで約 113kmの相模川を再現した 40mの「流れのアクアリウム水槽」や、川魚に直接エサやり体験（エサ有料）が出来る「おさかなトレーナーになろう！」などお子様から大人まで楽しめます。
その他にも飼育スタッフによるガイドや、身近な材料で作る「ものづくりワークショップ」などお楽しみ盛りだくさんの水族館です。

94　光と緑の美術館
イタリア 20 世紀の巨匠たち

光と緑の美術館は、相模原市上溝在住の鈴木正彦（相模原土地開発株式会社及びゼストテニスクラブ代表）が、平成 6 年（1994 年）11 月 26 日に設立した市内で初めての個人美術館です。現館長の亡父鈴木彰一が残した数十点の日本画を基盤として出発し、現在はイタリア近・現代美術（マリーノ・マリーニ、ジャコモ・マンズー、ベリクレ・ファッツィーニ、エミリオ・グレコの版画、素描）を中心に収蔵、展示しております。講座、音楽演奏会なども行っております。

95-1　相模原市立博物館
相模原市の魅力を実感！「森の中の博物館」

相模原市の自然・歴史と宇宙について学べる総合博物館です。1,400 点を超える実物資料のほか、復元した江戸時代の開拓農家や段丘崖のジオラマなどを展示する自然・歴史展示室、「宇宙とつながる」をテーマにした天文展示室があります。また、県内最大級の直径 23m のドームに映し出される大迫力のプラネタリウムや全天周映画も楽しめます。さらに、新鮮なテーマによる企画展や隣接する JAXA と連携した宇宙教育普及事業など、知的好奇心を刺激するさまざまなイベントを開催しています。

95-2　尾崎咢堂記念館
議会政治の父　尾崎行雄（咢堂）を紹介

尾崎行雄（咢堂）の生誕地に建設された記念館です。尾崎行雄は、第 1 回帝国議会に衆議院議員として初当選以来、連続当選 25 回、衆議院議員として 60 年余り在職し活躍しました。特に、東京市長時代に米国ワシントンへ 3,000 本もの桜を寄贈したほか、普通選挙の実施や不戦を唱えるなどの業績を残しました。
館内には写真、肖像画、遺品などの尾崎行雄にまつわる資料を保存・展示しています。

95-3　吉野宿ふじや
甲州道中の名残りを留める貴重な建物

明治 29 年の吉野宿大火後に建てられた、甲州道中の旅籠の名残りを留める建造物で、市登録有形文化財に登録されています。
吉野宿ふじやでは、甲州道中や吉野宿に関する展示の他、藤野地域の歴史、産業、文化などにかかわる郷土資料を展示しています。また、各種企画展示なども行っています。

※記載してあります No.は裏面の館情報 No.と一致しています。